

令和6年度に実施する 協業の調整について

令和6年2月1日

経済産業省 中部経済産業局
(中部地域半導体人材育成等連絡協議会 事務局)

協業案件の組成に向けた協業希望の意向の状況

- 2023年12月以降、協議会参加機関における、令和6年度内の協業の取組希望を「ニーズリスト」として集約し、参加機関に共有。
- これを踏まえた具体的な協業先及び取組に係る希望を集約したところ、企業→教育機関への協業希望は**115件**、教育機関→企業への協業希望は**111件**の意向あり。
- このうち、産学双方で協業希望の意向が一致している案件は**約60件**（※）（前回比+10件程度）。

工場見学 27件／インターンシップ 21件／特別講義 22件／業界説明会 45件

産（8機関）

- 株式会社デンソー
- イビデン株式会社
- ウェスタンデジタル合同会社
- キオクシア株式会社
- ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン株式会社
- タワーパートナーズセミコンダクター株式会社
- 加賀東芝エレクトロニクス株式会社
- 東芝デバイス&ストレージ株式会社



協業希望：115件



学（10機関）

- 名古屋大学
- 名古屋工業大学
- 豊橋技術科学大学
- 豊田工業大学
- 岐阜工業高等専門学校
- 三重大学
- 鈴鹿工業高等専門学校
- 富山大学
- 金沢大学
- 金沢工業大学



協業希望：111件

工場見学 25件／インターンシップ 26件／特別講義 30件／業界説明会 30件

（※）各参加機関とも1件以上は協業に結びつく可能性がある案件が含まれている。 / 今後、諸条件のすりあわせによっては、一部は、協業に至らない可能性もある。

今後の進め方等について

今後の進め方について

- 4月以降の新年度における協業の実現に向けて、参加機関間での調整に着手していただきたい。
- 参加機関の新規追加があった場合には、取組ニーズを確認し、既存参加機関あて連絡する。その後、当該内容を踏まえ、新規追加機関との連携希望を確認し、協業の調整を実施することとする。
- なお、5月に開催予定の第5回協議会に向けて、4月中を目処に協業の調整状況を伺う予定。
(第5回協議会では、組成された案件について可能な範囲で発表・共有をいただく想定)

その他 依頼事項等

- 取組の実施状況については、可能な範囲で、参加機関間での積極的な共有や、対外への情報発信（メディアの取材対応含む）に協力をお願いしたい。
- 従前同様、機関の追加参加については、協業の促進や各取組の効果の向上に向けて、既存の参加機関（産・学）から本協議会に必要不可欠と考える企業・教育機関（※）の推薦がある場合は、本協議会にて、追加の参加の是非を調整することとしたい。

（※）本協議会の参加機関については、以下の整理として継続することとする。

【産】 中部地域で半導体の開発や前工程・後工程の製造を担う企業。

【学】 中部地域で半導体分野の人材育成の充実化に取り組んでいたり上記企業へ多数の就職実績を有する大学・高専等の教育機関。